

京都の伝統産業 Traditional Industries of Kyoto

和蠟燭



西洋蠟燭の普及で一時不振だった和蠟燭も、近年仏事用の法灯や、お茶事で夜話が復活し、数寄屋蠟燭としての需要も高まり、見直されている。製造法は和紙に藺草の髓を巻いた芯にハゼの実から採取した口ウを塗り込めていく独特の技法で、油煙の少ない純植物性の浄らかな炎がめらめらとゆらぎ、美しさを表現する。

制作：京都市

京都の伝統産業 Traditional Industries of Kyoto

和蠟燭



西洋蠟燭の普及で一時不振だった和蠟燭も、近年仏事用の法灯や、お茶事で夜話が復活し、数寄屋蠟燭としての需要も高まり、見直されている。製造法は和紙に藺草の髓を巻いた芯にハゼの実から採取した口ウを塗り込めていく独特の技法で、油煙の少ない純植物性の浄らかな炎がめらめらとゆらぎ、美しさを表現する。

制作：京都市